

令和5年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①説明文において、文章全体の構成を読み取ること。 ②言葉の意味や使い方を正しく理解すること。 ③文章の中心となる語や文を読み取り、要点をまとめ、要約すること。	①説明文において根拠をもって段落ごとの役割や段落同士のつながりを見付けられるよう、用語の意味を指導し、理解させる。 ②辞書を活用しながら、言葉の意味を調べる活動を意図的に組み込む。 ③文章の要点につながる語や文の見付け方や要約文の書き方をスモールステップ化して指導する。		
算数	①粘り強く問題に取り組むこと。 ②四則計算の習熟を図ること。 ③図形の意味や性質を基に図形を弁別すること。	①問題から必要な数値や数値の関係に着目することで問題場面をとらえ、問題解決への見通しをもつ力を育成する。 ②筆算を具体物や図と関連付けて考えたり、具体物の操作や、図で考えた結果を式に表したりすることで筆算の考え方や計算の仕方を理解させ、計算を確実にできるよう指導する。 ③図形の観察や操作活動を通して、図形の意味や性質を基に考えさせるとともに、図形の意味や性質を活用して問題解決する学習活動を意図的に行う。		
理科	①問題解決の見通しをもち、予想を立ててから観察・実験を行うこと。 ②観察や実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察すること。 ③観察・実験で使用する器具の使い方を理解し、正しく扱うこと。	①単元を貫く学習問題を立て、何を解決するための活動なのかを意識させる。 ②問題、予想に立ち返りながら、考察の視点を確認する。 ③新出の器具や観察・実験方法、留意点について確認する。		
社会	①課題に応じて資料を読み取ること。 ②調べ学習において、資料の中から必要な箇所を取り出したり、選んだりすること。	①課題に対して、ICT 機器等を活用し資料から適切に情報を読み取れるようにする。 ②自分の考えの根拠として、図や写真、グラフなどの資料を活用することができるようにする。		
音楽	①互いの演奏を聞き合いながら、自分の演奏の工夫をする。 ②自分のパートと友達のパートの音色の重なりを聴き合って合わせること。 ③リコーダーの技能を身に付けること。 ④演奏すること、表現することの楽しさを知ること。	①ICT 機器を活用し、友達の演奏に耳を傾け、自分の演奏と友達の演奏を比較したり、考えたことを友達と伝えあったりしながら演奏を工夫する活動を行う。 ②みんなの声と合わせて歌ったり、他のパートを聴いたりして歌う活動を行う。 ③楽器の基本的な奏法を、いろいろな教材を通して繰り返し練習し身に付けさせる。 ④演奏する楽しみ、表現する楽しみを味わえるような教材や活動を工夫し、子供たちが笑顔で音楽を楽しめる授業を行う。		
図画工作	①材料や用具の基本的な扱いを理解すること。 ②自分の学習として主体的に取り組むこと。 ③自分の目標達成のために計画的に進める力を身に付けること。	①実物を用いた演示や ICT 機器を活用して分かりやすい資料の充実を図る。 ②児童の興味・関心、生活などと題材を関連付け、主体的に活動する態度を育てる。 ③試行したり選択したりする場面を設定し、時間配分を考えて活動できる力を育てる。		
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択できること。 ③毎時間の運動量に個人差があること。	①ICT 機器を有効に活用し、自分の体の動きを見ることで、より正確な動きを身に付けられるようにする。 ②段階的に技能を習得できる場を設け、習熟に応じて、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。 ③コーディネーショントレーニングなどの運動を継続的に行う。		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。